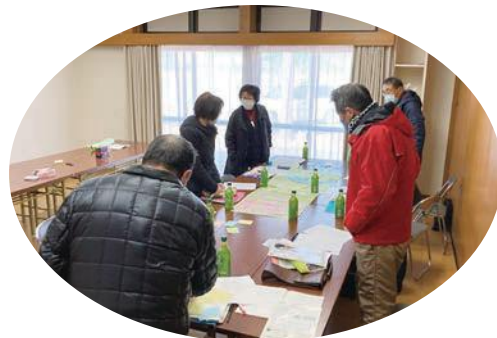


【住民アンケート】

「安心して住み続けられる地域になるために、どのような支え合い活動や防災活動が必要か？」住民の皆さんの生の声をお聞きすべく、町内会加入全世帯へアンケート用紙を配布しました。

町内会役員、愛育委員の協力で、2,641世帯のうち1,041世帯より回答がありました（回答率39.4%）。集計は、支え合いの会メンバーで手分けをして行いました。アンケートからは、庭木の剪定やゴミ出し、子どもの遊び場など、住民の皆さんの「あったらいいな」という声が多くありました。メンバーからは、記入された手書きの文字を見ていると住民ひとりひとりが期待を込めて書いてくれたことが伝わってきて、「何かやらなければ」という気持ちが高まってきたとの意見も出ました。

アンケート結果を踏まえて、私たち支え合いの会としてどこから取り組んでいけば支え合い活動が無理なく進められるか、具体的な活動に向けた話し合いを行っています。



グループワークの様子



「ニーズ」と「できそうなこと」を整理



集計方法の打合せ風景

活動実績・効果

アンケートで生の声に触れたり、会の開催を重ねたりするうちにだんだんと積極的な発言が増えてきました。

また、毎回、会の司会を4者で順番に回しています。その時々司会者の特色が出ていますし、司会をすることで会への理解を共有できつつあるように感じます。

運営費

操南学区連合町内会からの補助金

ネットワーク

【構成団体】：地区社会福祉協議会／民生委員・児童委員協議会／愛育委員会／連合自主防災会

【サポート団体】：中区保健センター／中区地域包括支援センター／ふれあい介護予防センター／操南公民館／岡山市社会福祉協議会

今後の展望

アンケート結果について、支え合いの会の今後の方向性・課題として町内会への報告会や、回覧を通じて住民へフィードバックし、支え合い活動への参加の呼びかけにもつなげていきたいと思っています。